

10月号では各区夏祭りの
様子をお届けします！

(写真：両神区納涼祭)

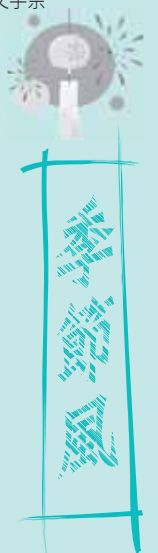
❖内容

- 16 特集 『公民館ってどんなところ?』
- 17 『今支館・分館では』(宮沢区)
『教えて!あなたのサークル』(土の会/紙バンドあみあみ)
- 18 募集 9月公民館講座
- 19 募集 小山敬三美術館公募展/小諸市短詩型文学祭
- 20 『ぼくとわたしの作品』(野岸小学校)
- 21 『市民登山より』
お知らせ 文化会館スケジュール

生物は生まれながらにして
闘争本能を持っているようで
それが「良い意味」で生存競
争に勝ち抜いた者が、「進化
の歴史」をたどるのは解りま
すが、他国の領地や物質を欲
しくなり、戦争となり、力ず
くで奪い、「核」を使つての
争いとなると勝つても負けて
も悲惨です。

「神仏の悟り」を開かない
までも、地球上の皆が仲良く
楽しく暮らせたなら、それが
「理想」だと思います。

編集委員 土屋 薫



—特集—

小諸市公民館ってどんなところ？



公民館の役割

小諸市では、第10次基本計画の中で『生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し「生涯学習社会」の実現をめざす』ことを施策の一つとしてを位置づけています。各地では、趣味や教養の講座等個人ニーズに應える学習が多くなり、公民館がカルチャーセンター化しているという声もありませんが小諸市公民館では個人の生きがいづくりも大事にとらえそれにつながる趣味や教養を高める学習機会を引き続き充実していきます。それとともに住民自らが地域づくりを進められるよう地域課題に関する学習と実践への支援を各機関や支館・分館と連携して推進します。

今回は、小諸市公民館の運営方針についてご紹介します。

実践を支援します。
★豊かな自然や歴史的、文化的資産を活用し、自ら学ぼうとする市民ニーズに答え、生涯にわたる生きがいづくりに生かされる学習を支援します。

活動の推進

趣味や教養を高める学習とともに地域課題に直結する学習と実践を支援する公民館となるよう、各機関や支館・分館と連携して公民館活動を推進します。

一 生涯学習の推進と学習内容の充実

他機関と連携し、多様なニーズに対応した学習機会の提供をします。

二 自主的活動の推奨と支援

各種団体、グループ、サークル等の育成と活動発表の機会の充実を図り、人材育成と地元講師の発掘に努めます。

五 男女共同参画社会の実現

関係団体と連携し「こもろ女性の家」事業の充実を図ります。

六 芸術文化の振興

芸術文化団体等との連携を強化し、芸術文化鑑賞の機会の提供に努めます。

七 家庭教育の充実・向上と青少年育成の支援

家庭教育に関する学習機会を提供するとともに、児童生徒の休日に対応した公民館事業を展開します。

活動の柱

★共に支え合う地域コミュニティづくりをめざし、暮らしに根ざした地域課題の学習と

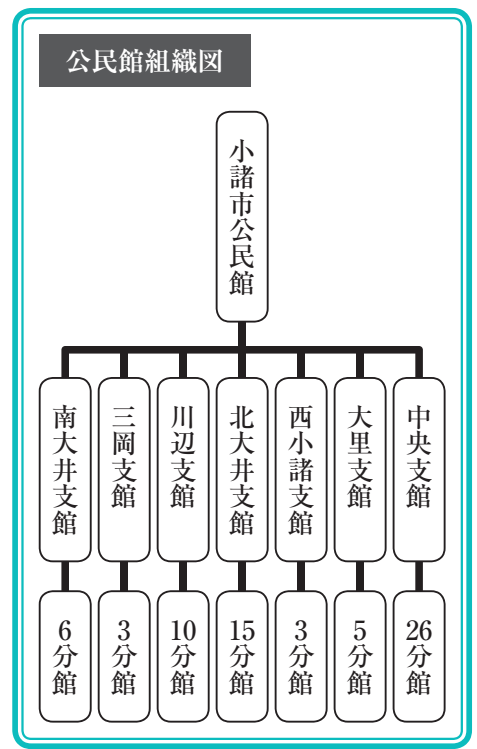


公民館講座 『親子で料理教室』

四 人権同和教育の推進

人権を尊重しあう温かな人間関係を育むため、分館による人権同和教育講座の開催や、あらゆる差別の撤廃をめざした指導資料の充実と活用、指導者の養成を行います。

今年度も、小諸市公民館では公民館と地域、地域と市民の皆さんを「学ぶ・つどい」ことのでつないでいきたいと考えて学級講座等を開催していきます。



今支館・分館では

『宮沢区あれこれ』

宮沢区 清水 清勝



私は、宮沢区に住んで52年になります。毎年春になると桜並木の花がきれいに咲きます。公民館役員の皆さんが、桜の木にボンボリを取り付けます。ボンボリには、区民のそれぞれの思いや絵が書かれていて夜になるととても幻想的です。宮沢区の山は、自然が破壊されずに残っており、山野草の宝庫です。その中でも群生しているのは、イカリソウ・ウスバサイシン・ヒトリシズカ・シロバナエンレイソウ・ウバユリ・ウメガサソウ・スマレ・カタクリ・アズマイチゲ・ウツボグサ等、数えきれない花が咲きます。な



おウスバサイシンはヒメギフチヨウの食草なので、県内外から飛来を求めて関係者が捕獲に来ますが、現在は乱獲を防ぐために入山規制の看板が設置されています。他に金比羅公園があり小諸市眺望百選になっており、晴れた日（特に冬）には霊峰富士山が望めます。市民の皆さんにあまり知られていない場



所ですが、展望台から右前方に蓼科山、中央に飯盛山・茂来山・荒船山、左に浅間連峰眼下には千曲川の流れが見えます。皆さんの区の公民館活動でハイキング等活動の選択肢としていかがでしょうか！宮沢区の公民館活動は活発に行われており、特に区民旅行は毎年楽しみです。世代間交流にもなっていて、毎年大勢の皆さんが参加されます。他に敬老会・スポーツ大会・世代間交流のしめ縄作り等が計画されていますが、私も積極的に参加したいと思っております。

教えて！あなたのサークル

【紙バンドあみあみ】

代表 小林 文子

紙バンドを素材にいろいろな籠を編んでいます。基本の追い掛け編み、あじろ石畳、すかし等、作品ごとに色を選び編み方を習っています。手持ちやシヨルターバッグ、パンジーを飾る花入れ、ふた付きソーイングバスケット、バスタオルが入る大きな籠、家の中に籠があると落ち着きます。仲間は20名。子育て中の母親、熟女？幅広い年代の方が参加しています。いろいろな話題に耳を傾けながら、おしゃべりをして、もちろん手は籠を編んで、あつという間に2時間が過ぎてしまいます。人とのご縁も籠に編みこんで、あなたも一緒に籠を作ってみませんか。お待ちしております。



【土の会】

講師 岡本 一道



34年前に開館した小諸市文化センターの公民館主催事業として連続10回の陶芸教室が企画され、講師を引き受けました。講座終了後参加者を中心に「土の会」が発足し、今日に至ります。生涯学習を地で行く活動です。例会では、お茶会を楽しみながら和やかに作陶を楽しんでいます。その他、公民館まつりへの参加や研修旅行などが主な活動です。暮らしの中心にある食をより豊かに彩る器を自ら創ってみませんか。初めての方歓迎いたします。例会は毎月第2・4火曜日14時〜20時都合のよい時間にご参加ください。詳細は岡本まで。

090・4153・0301

9月公民館講座のご案内

『生涯楽しく学びたい』公民館につどい、知識と教養を高め、楽しく学ぶ仲間と住みよいまちを創りましょう。申込みは平日午前9時から午後5時まで、公民館窓口・電話・FAX・メール・インターネットで受け付けます。申込み多数の場合は初心者優先とし公民館にて責任抽選いたします。また、申込み少数の場合は講座が中止となる場合があります。

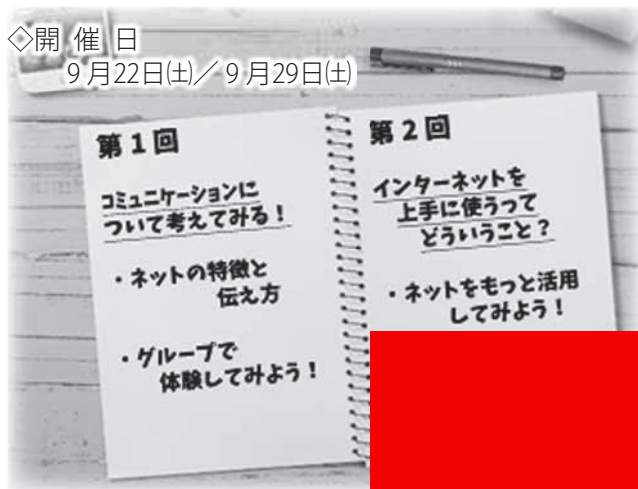
なお、FAX・メールで申込まれる方は講座名、名前、住所、電話番号を必ず明記してください。

小諸市文化センター 電話 23-8880/FAX 25-2224/E-mail: bunka@city.komoro.nagano.jp
 ※4月号でお知らせしました9月開催の『エクセル初級』ですが、10月開催に変更になりました。

こどもチャレンジ講座 親子で学ぶインターネット講座

◇開催日

9月22日(土) / 9月29日(土)

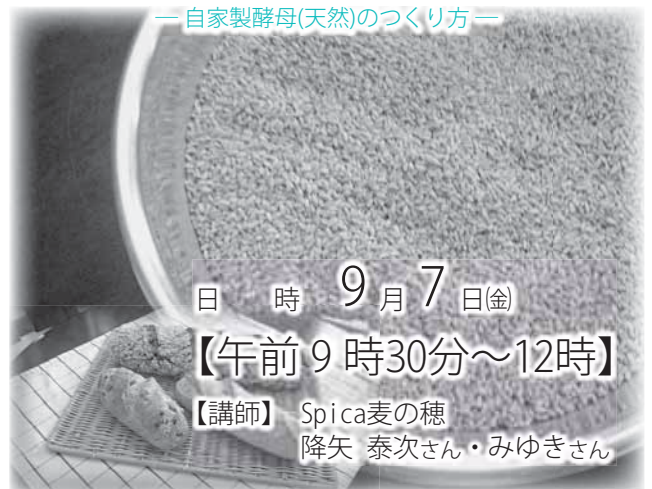


- ◇時間 午前10時～12時
- ◇場所 第一講義室
- ◇定員 親子20組
- ◇費用 無料
- ◆申込み期間 8月13日(月)～8月31日(金)

こもろ女性の家 パンづくり

託児付き

— 自家製酵母(天然)のつくり方 —



日時 9月7日(金)

【午前9時30分～12時】

【講師】 Spica麦の穂
降矢 泰次さん・みゆきさん

- ◇場所 料理教室
- ◇定員 各10名
- ◇材料費 2,500円(ピン・レーズン(種)・全粒粉持ち帰り)
- ※10月は自家製酵母を使ったパン生地づくり講座を計画♪詳細は次号
- ◆申込み期間 8月8日(水)～8月22日(水)

ワード初級

案内状や町内会の広報といった文書はもちろん、チラシや年賀状、カレンダーなど、簡単に作成できます。生活に活かしてみませんか？

- ◇開催日 9月4・7・11・14・21・25日(火・金)
- ◇時間 午前9時30分～11時30分
- ◇場所 図書学習室
- ◇定員 16名
- ◇テキスト代 1,296円
- ◆申込み期間 8月6日(月)～8月20日(月)

こもろ女性の家 大人の新・英会話教室

託児付き

～「自分でつくって話す」英語は面白い!～

- ◇開催日 9月5・19日・10月3・17日(水)全4回
- ◇時間 午前10時～12時
- ◇場所 視聴覚室
- ◇定員 12名
- ◇費用 無料
- ◆申込み期間 8月8日(水)～8月22日(水)

覚えない!
発音は気にしない!
自分で
英語をつくる!



「千曲川のスケッチ」散策教室

— 明治30年代に藤村がスケッチした小諸を歩き、小諸の魅力を再発見してみませんか —

◇開催日・内容

9/8(土)	小諸義塾と城跡を中心に	9/30(日)	商都小諸と商家の山荘
9/24(月・祝)	水明楼から千曲川へ	10/6(土)	藤村旧居付近とその家の移築先

- ◇時間 午前10時～12時
- ◇定員 20名
- ◆申込み期間 8月7日(火)～8月22日(水)

公民館講座の申込みが

インターネットで、できます!

小諸市公式サイトでは、講座の申込みができます。また、毎月講座の案内も掲載。

★小諸市Facebook・Twitterでも情報発信中!!!

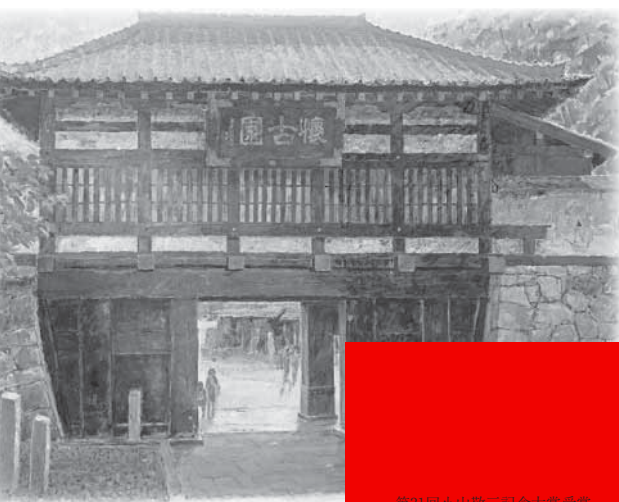
お申込みは 小諸市文化センター

コチラからでも



小山敬三美術館より

第32回小山敬三記念小諸公募展 作品募集



第31回小山敬三記念大賞受賞
「三の門」長谷川 肇 (千葉県)

- 作品テーマ 浅間山・千曲川・小諸の風景等を題材とした具象の風景画
- 作品規定 油彩画・水彩画・日本画・版画の平面作品で10号以上50号以下(S及び不定形除く)／額装の上、必ず吊り金具・吊り紐を付ける
仮縁(5cm以内)推奨／未発表の作品(一人3作品まで)
- 応募資格 高校生以上(15歳以上)
- 出品料 1点3,000円(2点目からは2,000円、高校生・大学生は1,500円)
- 出品申込 所定の申込用紙に必要事項記入の上、作品・出品料とともに市立小諸高原美術館・白鳥映雪館へ搬入
- 搬入日 平成30年10月14日(日)、15日(月)、16日(火)(9:00~16:30)

■作品展示 **平成30年10月21日(日)~11月25日(日)**
9:00~17:00(最終日は~15:00)

- 賞と入選 小山敬三記念大賞ほか
- 表彰式 **平成30年11月3日(土祝) 14:00~**
※詳細については、実行委員会事務局へ

▼お問い合わせ先

公募展実行委員会事務局 (小諸市立小山敬三美術館内)
〒384-0804 小諸市丁221 (懐古園内)
TEL/FAX 0267-22-3428

▼搬入先・作品展会場

市立小諸高原美術館・白鳥映雪館
〒384-0041 小諸市大字菱平2805-1
TEL 0267-26-2070 / FAX 0267-26-2071

小諸市文化協会より

第31回小諸市短詩型文学祭 作品募集

第31回目を迎える小諸市短詩型文学祭につきまして、
本年も下記要領で作品募集を行います。ご応募お待ちしております。



■文学祭日時 **平成30年12月15日(土) 午後1時から**
■内容 入選作品の表彰式及び分科会【諸流華道展 前日(14日)より同時開催】
■会場 小諸市文化センター(乙女湖公園内)



昨年の華道展より

—投稿規定—

- ①投稿作品：短歌部門 2首／俳句部門 3句／川柳部門 3句
- ②投稿資格：小諸市及び東信地区に在住する方／東信の事業所に勤務する方／東信地区で活動する各部門団体
小中学生及び高校生
- ③応募用紙：所定応募用紙(コピー可)を使用し、住所・氏名・電話番号を記入。(雅号の場合、本名も記載)
楷書で書き、必要箇所にはふりがなをつける。(用紙は文化センター・文協所属結社にて配布)
- ④投稿料：1部門1組につき1,000円(各部門とも1人1組まで)
※小中高生及び介護保険施設からは投稿無料
※投稿者には作品集を贈呈

—投稿方法—

- ①投稿締切日：**平成30年9月14日(金)**
- ②投稿料納入：作品に投稿料を添えて事務局に提出、又は郵便小為替を添えて郵送

▼投稿先及び問い合わせ先

小諸市文化協会事務局 (小諸市文化センター内)
〒384-0801 長野県小諸市甲1275番地2
TEL 0267-23-8880 / FAX 0267-25-2224



『一年生を迎えて』

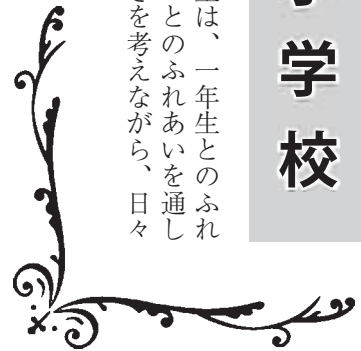


四月二十五日(水)は、「一年生を迎える会」がありました。野岸小学校の一年生を迎える会には、「ノギシックス」が登場します。ノギシックスは野岸小学校の生活を一年生に分かりやすく説明してくれるお助けマンの六人組です。レッドがリーダー、ブルーは遊びや運動、ホワイトは勉強、



野岸小学校

私たち野岸小学校六年生は、一年生とのふれあい、うさぎの「ポフ」とのふれあいを通して、優しくや命の大切さを考えながら、日々の生活を送っています。



ピンクは仲良しのことを説明してくれます。そして、僕たちはノギグリーンとノギイエローをやりました。グリーンは清掃を、イエローは給食のことを説明します。一年生にも分かるように、笑顔と大きな声を心がけました。



ノギシックスが登場すると一年生も他の学年の人たちも盛り上がり、とても喜んでくれました。一年生を迎える会の後も、「ノギイエローだ。」「ノギグリーンの人だ。」と、たくさん的一年生と仲良くなることができました。僕たちは、一年生が楽しく学校生活を始めることができるととても嬉しいです。

『クラスの員「ポフ」』



六年二組のウサギは、いつも鼻をヒクヒクさせています。そして、手をなめてくれます。でも、去年の十月十日(火)に私たちのクラスにやってきたころは、少しビクビクしていました。そんなウサギに、私たちは「ポフ」という名前をつけました。イン

ポータントの「ポ」と、ライフの「フ」をとって、「大切な命」という意味です。今ほもうクラスに慣れてきて、休み時間はさわったりだっこしたりして、すごくいやさ



れています。いやなことがあっても、ポフをだっこすれば、温かい気持ちになります。お昼は、班ごと日替わりでいつもそうじをしています。トイレやすのこをきれいにしたりしています。私たちは、そうじさえも楽しいです。大変なことや困ることはありません。でも、それがとてもいい勉強になっています。それだけではなく、みんなをいやしてくれるポフは、クラスの員であり、大切な命です。いつもありがとう！ポフ！



我が家の台所の窓を開けると正面に浅間連峰が望め、日々変化するその風景が好きです。そして今日は、いつも遠くから眺めている黒斑山(2404m)に登ります。6月2日(土)天候に恵まれ市民登山に参加しました。

車坂峠登山口から表コースを登りました。総勢18名の参加で、浅間山クラブの柳田さんが先頭でガイドをしてください。参加者が続きます。登り始めてすぐイワカガミの花が咲いていて、これからどんな高山植物が観られるか楽しみになりました。その年の気候で開花時期も異なり、例年は



『あこの山へ』

小諸市公民館講座 市民登山
編集委員 遠山 厚子

ていよいよトミーの頭を目指して最後の急斜面です。浅間山が目の前に見え、素晴らしい景色です。トミーの頭まで行けば山頂も近いと思うと元気を取り戻せました。



シャクナゲが見頃ですが、登山口近くでは淡紅色の花がすでに終りに近く色あせていました。30分ほど歩くと道も急になり早くも山頂までたどり着けるのか不安になりました。柳田さんはゆっくりと登ってください。時々足を止め植物や登山道にある石の色や形で噴火の時の様子が解ると説明され興味があくとともに休憩することができました。急坂で石だらけのガレ場では、足を元を見ながら滑らないように一步一步慎重に歩きました。さらに苦しくなってきた時、振り返ると林が途切れ、視界が開けた先に市内が一望できその景色と頻繁に鳴くウグイスの声に一時癒されました。徐々に険しくなる山道。アップダウンがあり一端下った後の登りはさらにきつく感じました。途中、厚さ数センチの鉄板で造られたドーム型の避難小屋があり「もし今噴火したら」と御嶽山の噴火の映像が、頭をかすめました。そし

浅間山の山頂は少しガスつていましたが、その雄大な姿を見て登山の醍醐味を感じました。9時に出発して11時30分に山頂に到着し予定通りの行程でした。浅間山に向けて腰掛けた岩場は20数年前にお弁当を食べたその場所。仲間が作ってくれた甘めのコーヒーがおいしかったことを思い出しました。そして、小諸市から初めてフェイスブックに載せるライブ中継のインタビューに答える貴重な体験をさせていただきました。

昼食を済ませ下山です。帰りは中コースですが、その前に火山館に向うコースの途中、

草滑りという斜面に咲く雪割草を觀賞しました。この時期に咲いているのは珍しいそうです。薄紫色の可憐な花です。急斜面で大変でしたが、良い時に恵まれたと思いました。中コースはアップダウンがなく、登りの時のような苦しさはなく下山することができ予定通り2時に登山口に戻りました。

久しぶりの登山で、途中も無理かなと思いつつも、浅間山の全容が見えた時「来て良かった」と時々登山していた若い頃の感激を再び味わうことができました。また40年位前白馬岳登山に連れて行っていただいたご夫婦と再会し、心に残る一日でした。ガイドしてくださった柳田さん引率してくださった職員のお二人に無事登山できたこと感謝いたします。

昼食を済ませ下山です。帰りは中コースですが、その前に火山館に向うコースの途中、



小諸市文化会館 8月スケジュール

日時	開演	イベント名	主催者	問い合わせ先
22日(水)	18:00	夢のスター歌謡祭(※)	(株)夢グループ	0570-064-724
25日(土)	未定	チャリティー映画会 ろうきん親子アニメ祭り	ろうきん小諸支店	0267-22-0045
26日(日)	14:00	講演『これからの社会と教育』 前川喜平氏	小諸市民大学	0267-23-8880

受付開始日

※小諸市文化会館でもチケット販売中

- 【公民館・こもろ女性の家】 2018年10月利用予約 8月1日(水) (貸出備品含む)
- 【乙女湖体育館】 2019年2月利用予約 8月1日(水)
- 【文化会館】 2019年8月は改修工事のため利用不可

小諸市文化会館よりお知らせ

佐久市イベントチケット 販売します!

佐久圏域の総合的かつ一体的な振興を図るため、小諸市・佐久市の皆様の利便性を考慮して、佐久コスモホール等での催し物のチケット販売を開始いたします。

現在以下の催し物を取り扱っています。ご利用ください。

●エストニア国立男声合唱団コンサート

期 日:平成30年9月16日(日)

【開場】13:30 【開演】14:00

場 所:佐久市コスモホール

内 容:ミック・ウレオヤ氏指揮による国立男声合唱

入場券:全席指定一般3,000円、高校生以下1,500円

連絡先:(一財)佐久市文化事業団 ☎0267-82-3962